



団体facebook

練馬のコンビニは、お年寄りに優しいんだって。



ねりまコンビニ協働プロジェクト

事業名

地域共生社会の高齢者支援における コンビニエンスストアとの協働モデルの構築


1

メンバー紹介



		氏名	所属
ねりまコンビニ協働プロジェクト	学術機関	五十嵐 歩	東京大学大学院 医学系研究科 高齢者在宅長期ケア看護学分野
		山本 則子	東京大学大学院 医学系研究科 高齢者在宅長期ケア看護学分野
		鈴木 美穂	東京大学大学院 医学系研究科 高齢者在宅長期ケア看護学分野
		松本 博成	東京大学大学院 医学系研究科 地域看護学分野
		高岡 茉奈美	東京大学大学院 医学系研究科 高齢者在宅長期ケア看護学分野
		久貝 波留菜	東京大学大学院 医学系研究科 高齢者在宅長期ケア看護学分野
		瀧田 貴之	元・東京大学大学院 工学系研究科 住宅・都市解析分野
	介護サービス事業所	青木 伸吾	小規模多機能型居宅介護「たがらの家」「しゃくじいの庭」運営法人 有限会社アオキトゥーワン
		油山 敬子	小規模多機能型居宅介護「たがらの家」
		安井 英人	小規模多機能型居宅介護・グループホーム「しゃくじいの庭」
コンビニ	村田 聡	セブン-イレブン（練馬光が丘西大通り店、練馬春日町4丁目店、練馬北町3丁目店）	
	柳瀬 奈緒美	セブン-イレブン（練馬下石神井3丁目店、練馬田柄通り店）	
(本所属) 職員	区業務	加藤 望良	協働推進課協働推進担当係（施設管理担当部施設整備課建築担当係）
		矢田 愛香	協働推進課協働推進担当係（福祉部光が丘総合福祉事務所保護第五係）

2

事業の目的・目標



N-impro

高齢になっても 安心して地域で暮らし続けられる社会を実現するために

コンビニ店員が体験するジレンマの事例を研修に活用



コンビニにおける高齢者支援を推進するための研修プログラム

ニンプロ

「N-impro」の開発と普及

N-impro = Nerima(練馬) + improvisation(即興)

到達目標

平成29年度	平成30年度	平成31年度以降
N-improの完成	N-improの充実	N-improの普及

3

目指したいゴール



N-impro

N-impro

直接的効果

民間事業者・地域住民

高齢者支援スキルの向上

発展的効果・地域への波及効果

高齢者

安心して買い物できる店が増える

地域

地域ネットワークの構築

要介護・要支援高齢者

ケアプランにコンビニを活用し支援体制の重層化

地域

ソーシャル・キャピタルの醸成
地域全体で高齢者を支える地域社会の基盤形成

子ども・障害者・生活困窮者

多様な社会福祉関連事業への応用

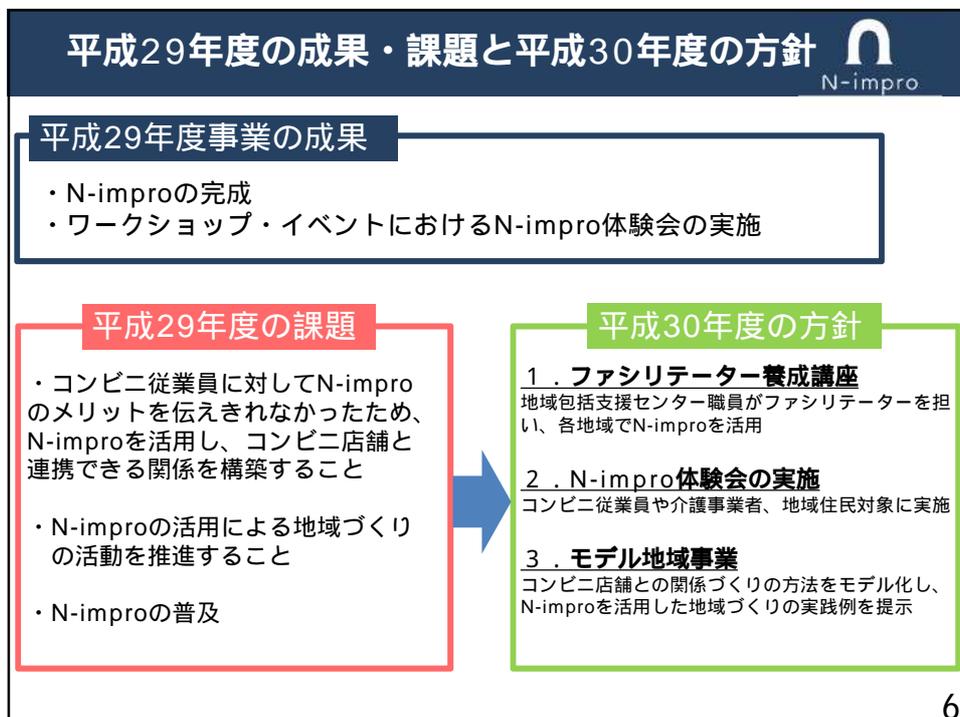
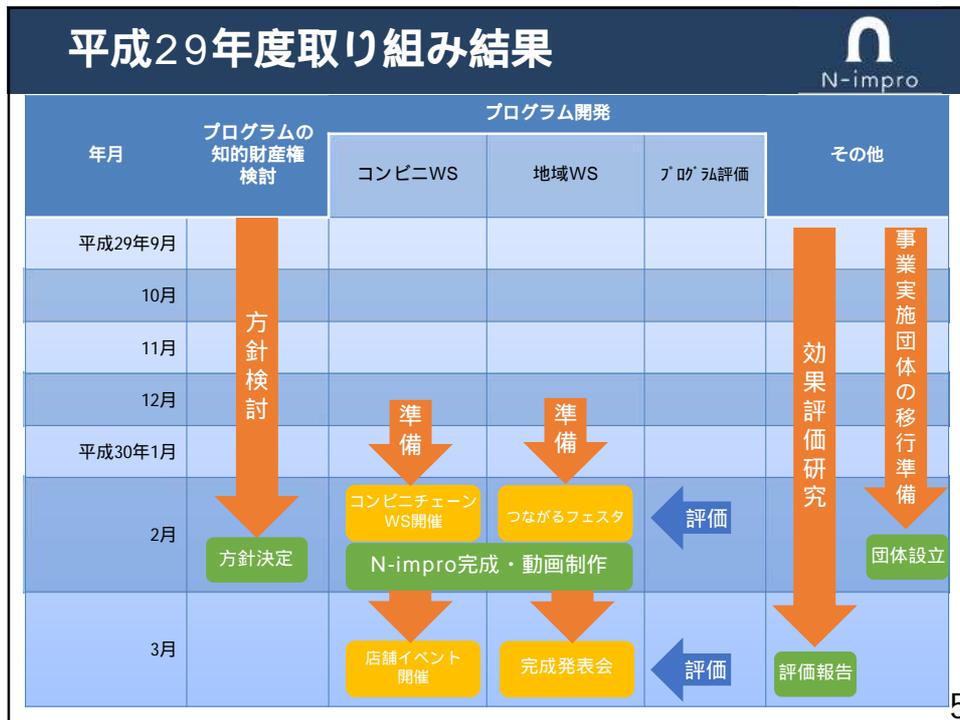
全国

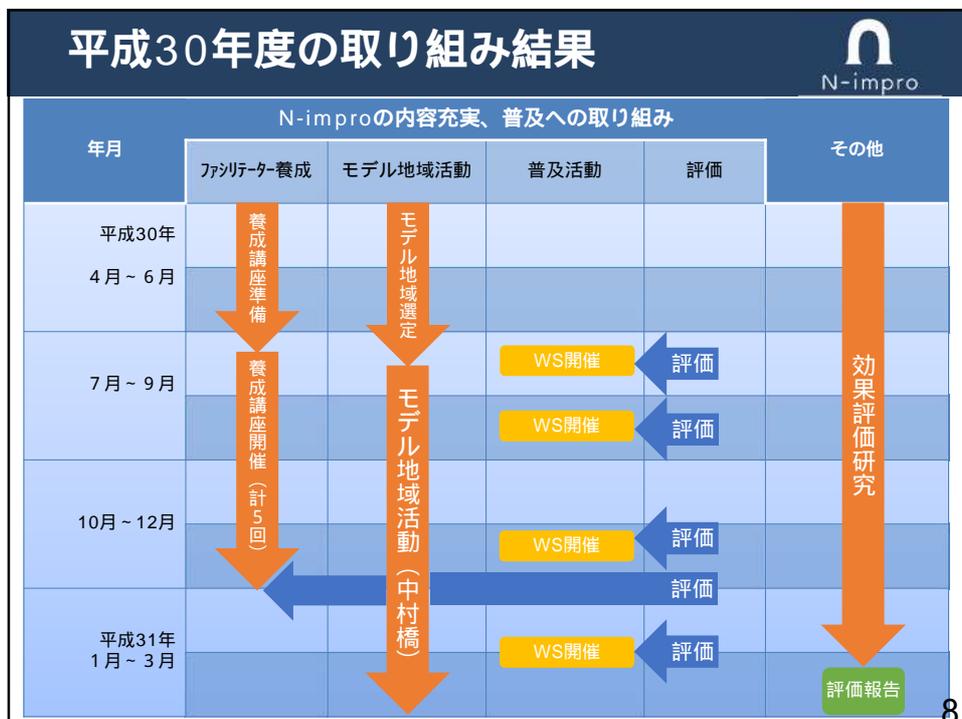
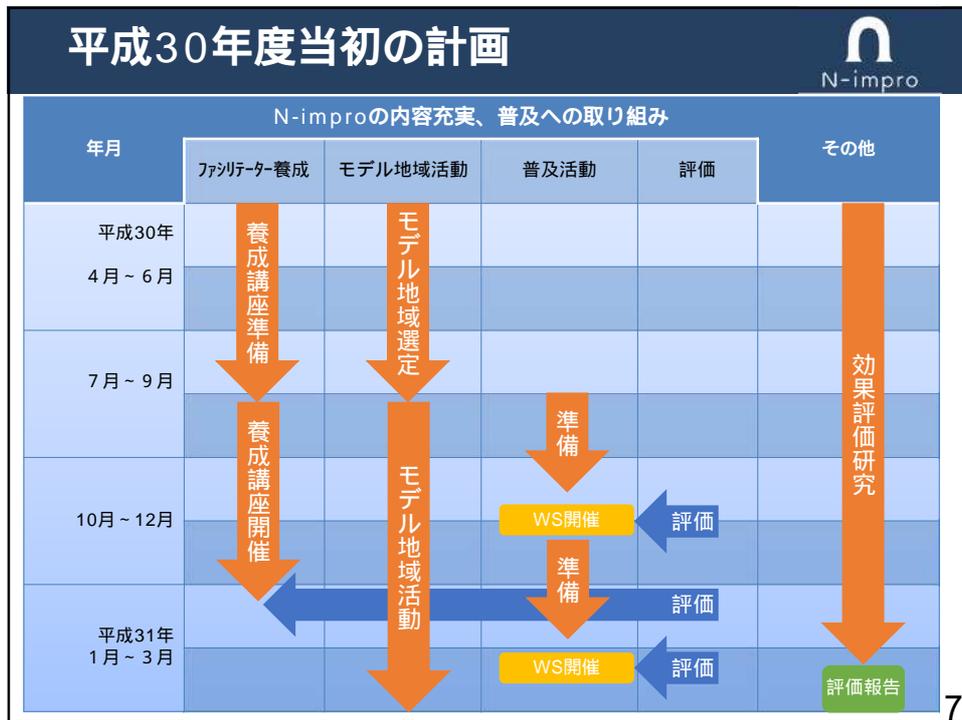
練馬発・N-improの全国展開

子ども・障害者・生活困窮者

多様な社会福祉関連事業への応用

4





平成30年度 取り組み結果 (ファシリテーター養成講座の開催)				
N-impro				
日時	対象者	会場	参加(名)	備考
8月30日	中村橋地域包括支援センター職員	中村橋地域包括センター	10	モデル地域の取り組み
9月26日	地域包括支援センター職員 (練馬地域)	ココネホール	18	
10月19日	地域包括支援センター職員 (光が丘地域)	光が丘区民センター	12	
11月15日	地域包括支援センター職員 (大泉地域)	勤労福祉会館	14	うち1名高齢者支援課職員
12月17日	地域包括支援センター職員 (石神井地域)	関区民センター	12	うち1名事連協
ファシリテーター養成講座は全地域包括支援センター受講完了			合計	66



9/26 ファシリテーター養成講座の様子



03- -

ファシリテーター認定バッジ

高齢者に関するお困りごとがありましたらご相談ください！
お住まいの地域の担当は

地域包括支援センター

コンビニ配布マグネット
包括名と電話番号を記載



平成30年度 取り組み結果 (ニンプロ体験会の開催)					
N-impro					
日時	主催者	対象者	会場	参加(名)	備考
7月6日	生協(日本生活協同組合連合会)	生協関連職員など	東京都生協連合会館(中野区)	20	
7月12日	大泉学園まちづくりネット	大泉学園地域のコンビニ、商店、町会、福祉施設など	婦人保養施設いずみ寮(大泉学園)	54	
7月31日	第2育秀苑地域包括支援センター	地域住民(町会会員など)	第2育秀苑地域包括支援センター	9	
9月18日	ねりまコンビニ協働プロジェクト	大泉・関町・貫井・南田中図書館職員(図書館流通センター)	貫井図書館	22	図書館向け
10月9日	第2育秀苑地域包括支援センター	地域住民(町会会員など)	第2育秀苑地域包括支援センター	6	
10月14日	南大泉地域包括支援センター	地域住民(町会会員、小学生など)	大泉西小学校	12	大泉西地区祭にブース出展
10月18日	石神井地域包括支援センター	地域住民(町会会員など)	石神井庁舎	12	石神町会、地域福祉を考える会共催
10月22日	中村橋地域包括支援センター	貫井図書館職員(2回目)	貫井図書館	35	モデル地域の取り組み
12月25日	やすらぎミラージュ地域包括支援センター	稲荷山図書館職員	稲荷山図書館	18	図書館向け
1月10日	中村橋地域包括支援センター	(社福)奉優会法人内研修 はつらつセンター豊玉、栄町敬老館職員	はつらつセンター豊玉	7	(社福)奉優会法人内研修(モデル地域)
1月22日	南大泉地域包括支援センター	コンビニ、介護関係者、地域住民	南大泉地域集会所	21	地域ケア会議にて実施
1月28日	練馬高松園地域包括支援センター	春日町図書館職員	春日町図書館	30	図書館向け
1月29日	大泉学園地域包括支援センター	はつらつセンター大泉の利用者	はつらつセンター大泉	20	
2月7日	中村橋地域包括支援センター	コンビニ、介護関係者、地域住民	中村橋地域包括支援センター	35	モデル地域の取り組み、地域ケア会議にて実施
2月15日	フローラ石神井公園地域包括支援センター	コンビニ、介護関係者、地域住民	下石神井地区区民館	36	地域ケア会議にて実施
2月19日	やすらぎミラージュ地域包括支援センター	コンビニ、介護関係者、地域住民	やすらぎミラージュ地域包括支援センター	30	地域ケア会議にて実施
2月23日	第2育秀苑地域包括支援センター	小竹図書館利用者、職員	小竹図書館	22	図書館向け
3月6日	貫井中学校	中学生	貫井中学校	130	モデル地域の取り組み
3月25日(予定)	大泉地域包括支援センター	南大泉図書館職員	南大泉図書館		図書館向け
合計				519	10

平成30年度 取り組み結果 (モデル地域事業)



- ・地域：貫井、中村北地域
- ・包括：中村橋地域包括支援センター
- ・目的： コンビニ店舗との関係づくりの方法をモデル化
N-improを活用した地域づくりの実践例を提示

1. コンビニへのインタビュー調査

- ・担当地域全10店舗中7店舗に実施
- ・地域包括支援センターの周知、顔の見える関係づくり
- ・コンビニの高齢者対応におけるニーズの聞き取り
店舗で起こった事例に対して包括が具体的に対応できた

2. 継続的なヒアリングの実施

- ・訪問や電話連絡によるヒアリングを継続的に実施
顔の見える関係を継続させることができた
包括とコンビニの連携がとりやすくなり、高齢者に対する見守り強化につながった

3. 地域でのニプロ体験会の実施

- ・貫井図書館、地域ケア会議（コンビニオーナーが参加）、
はつらつセンター豊玉（高齢者福祉センター）、貫井中学校

11

プロジェクトの評価 —ワークショップ前後の意識変化—



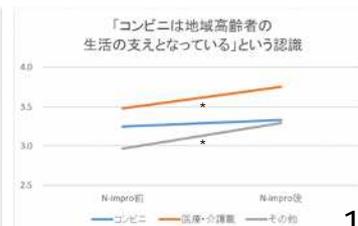
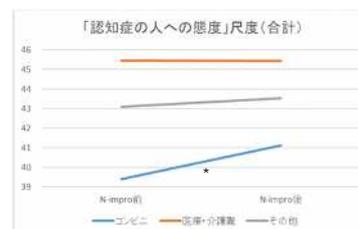
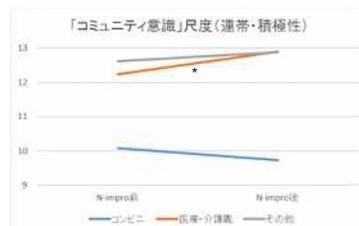
対象と方法

- ・2016年5月～2018年7月に開催された計7回のN-impro
ワークショップの参加者（n=184）
- ・対象者は、ワークショップ前後に
自記式質問紙に回答

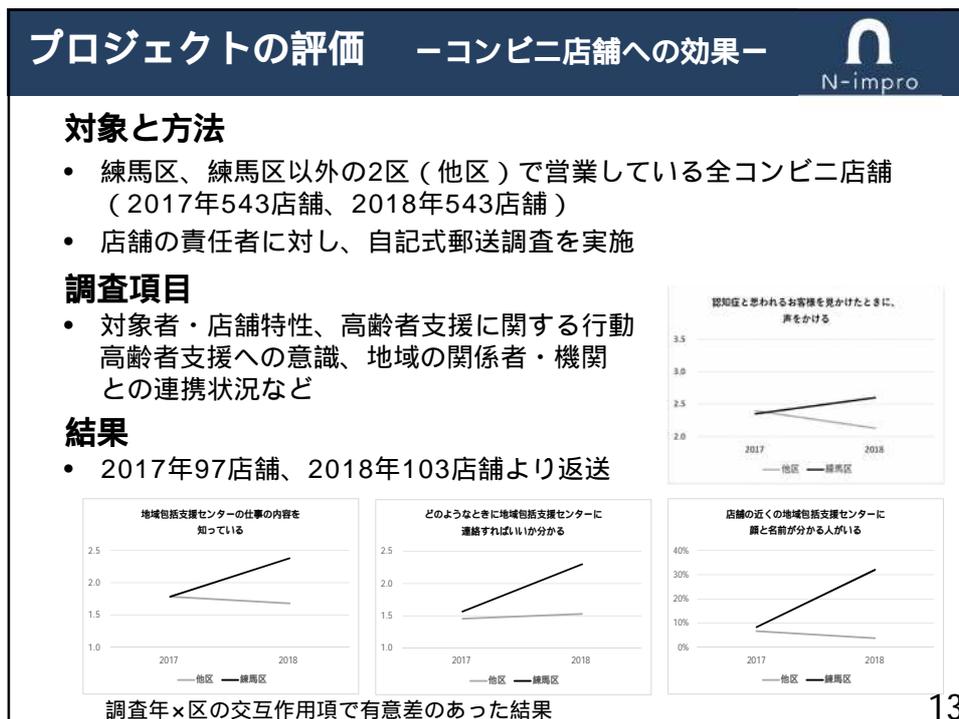
調査項目

- ・対象者特性、「認知症の人への態度」
「コミュニティ意識」「コンビニは地域
高齢者の生活の支えになっている」と
いう認識など

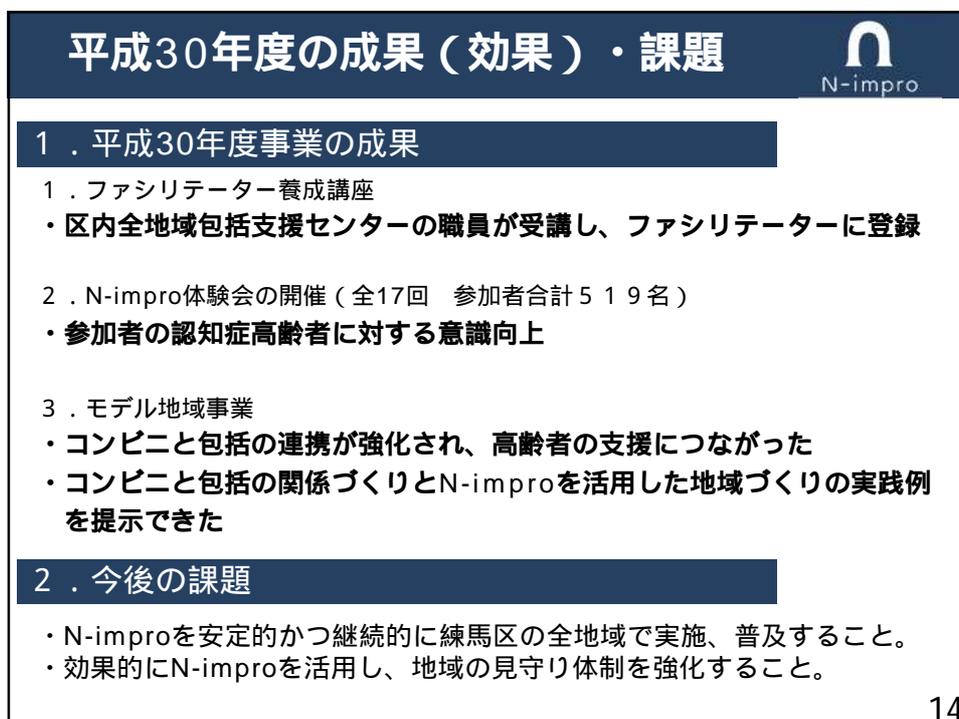
結果



12



13



14

平成31年度以降の取り組み



・平成30年度をもってプロジェクトは終了



・平成31年度以降は練馬区の事業へ

- ・ 区の事業として予算化されたことにより、安定的に実施することができ、N-improの普及につながる。
- ・ 地域ケア会議、街角ケアカフェ、認知症サポーター養成講座等にN-improを取り入れ、コンビニ店員や介護事業者、地域住民に対して効果的に実施する。
- ・ 東京大学大学院が区との共同研究を行い、効果検証しながらN-improを活用した地域の見守り体制の強化に取り組む。

以下、一部抜粋：平成31年度練馬区当初予算案記者発表資料 p.22 - p.23

見守り、高齢者が住み慣れた地域で暮らせる暮らし

コンビニ・薬局と協働した

介護予防と見守り

コンビニ・薬局と連携し、新たな街角ケアカフェを開始
移動販売車と連携した街角ケアカフェを実施

練馬区発「ニンプロ」を活用した地域の見守り体制の強化

新規
充実

1 練馬区発「ニンプロ」を活用して地域の見守り体制の強化

- 「N-impro（ニンプロ）」とは、コンビニの店員や店員の立場になり、認知症の方と接するときの対応を、カードゲーム形式で楽しく学べる研修プログラムです。
- コンビニの従業員を対象とし、ニンプロを活用した研修を実施し、地域の見守り体制を強化します。



1 練馬区発「ニンプロ」を活用して地域の見守り体制を強化【新規】

高齢者にとって身近なコンビニを見守り拠点とするため、地域包括支援センターが、コンビニの従業員等を対象に練馬区発の教材である「N-impro（ニンプロ）」を活用した認知症対応研修を実施します。介護事業者等と連携し、区民向けの研修やニンプロ体験会や認知症相談会等のイベントを開催します。また、メートインスペースや移動販売のエリアで、研修や講座、相談会等を実施します。

N-impro（ニンプロ）とは

区の認知プロジェクトで開発された、コンビニの店員や店員の立場になり、認知症の方と接するときの対応について学ぶカードゲーム形式の研修プログラムです。



▲ニンプロ研修会の様子

例）
あなたはコンビニの店員
認知症に接する対応を、名前を聞いても返事が曖昧、今日も来た。
任務を確かめるため
最後までついで行く？
Yes（ついで行く）
No（ついて行かない）

・平成31年度予算：1,859千円（N-impro）

15